

# 4年総合的な学習の時間学習活動案

単元名 交流のわをひろげよう（全32時間予定）

群馬県総合教育センター 長期研修員 木村 正臣  
嬭恋村立干俣小学校 第4学年

## < 使用される絵記号の説明 >

### 子どもの活動に関すること



子どもの内面やつぶやき、言葉



体験活動や追究活動



ワークシート



ポートフォリオ



作文



手紙やメール



パソコンで調べる



ビデオで調べる



本や資料で  
調べる



人に尋ねて  
調べる

### 教師の評価方法



観察



言葉かけ・会話



教師の投げかけ



保護者・地域からの評価（感想）

## 目標

擬似体験や実際に地域の聴覚障害をもつ人と交流することを通して、聴覚障害者の世界を自分自身の問題として追究し、自分の出来ることをいろいろなコミュニケーションの方法から学びながら、人とのふれあいを積極的に深め交流の輪を広げていこうとする態度を育てる。

## 評価規準

### 学習への関心・意欲・態度

障害をもつ人と楽しく交流するためにどうしたらいいか、自分自身の問題として興味・関心を持ち、意欲的に追究していくことが出来る。

### 総合的な思考・判断

解決するために自分にとって一番良い方法を見つけ、自分自身の学習活動を見直しながら、見通しをもって問題解決し、総合的に考える力を伸ばしていこうとする。

### 学習活動に関わる技能・表現

自分の出来ることをいろいろな方法で調べ、学び方を身に付けたり表現力を高めることができる。

### 知識を応用し総合する力

自分について見つめ直すことにより、いろいろな人とコミュニケーションすることの良さが自分なりにわかり、これからの生活のなかで積極的に交流の輪を広げていくための力がつくられる。

< かかわる過程 > (全7時間)

第1時～3時

第1時 「耳が聞こえない世界ってどんなだろう？」 平成 年 月 日 ( 曜日) 第 校時 4年生教室

T1 ( ) T2 ( )

第2～3時 「 さんとなかよくなるう！」 月 日 ( 曜日) 第 校時 4年生教室

T1 ( ) T2 ( ) T3 ( ) 外部講師 さん (聴覚障害者) さん (手話通訳者)

1 目標

聴覚障害者の さんとの交流学習をこれからはじめていくという共通課題を知り、聴覚障害者や身近な生活の中から聴覚障害にかかわる様々なことに興味・関心がもてるようになり、やがてはいろいろな人と積極的に関わっていこうとする意欲や態度をつくるための切実な思いがもてるようになる。

2 評価の観点

**聴覚障害者や身近な生活の中から聴覚障害にかかわる  
様々なことに対する興味・関心**

3 評価基準

: 聴覚障害に関わる様々なことに興味・関心をもちながら、聴覚障害者との交流に意欲的に取り組んでいる。  
: 聴覚障害者との交流に楽しく取り組んでいる。

: コミュニケーションの手段を一つの方法にこだわらず、複数の方法を試したりして活動したりすることができる。  
: コミュニケーションの手段を自分の得意な一つの方法で試したり活動したりすることができる。

: 生活経験の中から自分なりの思いをもち、自信をもって活動しようとしている。  
: 生活経験を思いうかべながら、自分なりに活動しようとしている。

4 評価の視点

子どもの興味・関心を十二分に引き出し高めるために、本物にかかわる感動体験の場を設定する。

子どもの内面をできる限り実態把握できるように、観察法では主にT2とT3が、目立った言動だけでなく小さなしぐさやつぶやきにも注意して見取る。

自分自身の良さに気づかせたり、自信をもたせるために、おもにT1が言葉かけや会話法、外部からの評価を工夫する。

授業後、主に次時の学習活動に生かせるようにするため、ワークシートなどの子どもの自己評価と教師の観察評価などを合わせて、 基準で実態把握し、特記事項を個人カード1に記入する。









今後の学習活動に生かしたり、通知票や要録の資料にするために、最後に個人カード2に評価の観点にそって 基準で総括的評価を行い、特記事項を記入する。

4 準備 ワークシート、作文用紙、手紙用便せん、デジタルカメラ ファイルボックスとクリアファイル (ポर्टフォリオ用)

5 展開  
第1時 耳が聞こえない世界ってどんなだろう？

活動の概要



聴覚障害者の生活について想像したことから聴覚障害のいろいろなことに興味・関心をもち、次時に予定している聴覚障害者との交流会に向けてどんな自己紹介を工夫したらよいか、考えたりやってみたりしながら交流会への意欲を高める。

学習活動	評価の方法・目的【観点】(時間)
<p>T 1</p> <p> 聴覚障害者の生活ってどんなだろう？ みんながもし何も聞こえなくなったらどうだろう？</p> <p> 耳が聞こえないってどんな感じなんだろう。どうして耳が聞こえなくなっただろう？聴覚障害者の人と交流するにはどうしたらいいのかな？字は読めるのかな。手話でお話とかやってみたいなあ。手話とかむずかしそうだなあ。</p> <p> 困ることがたくさんあるんじゃないかな？どんな困ることがあるだろう。買い物するとき大丈夫かな？電話とかどうするんだろう？テレビとかゲームとかわかるのかな？サッカーとか野球とかできるのかな？誰かに伝えたいときどうするんだろう。音楽とかは楽しくないだろうな。チャイムとか放送とかわからないから困るだろうな</p> <p>(10分)</p>	<p>生活経験とのかかわりから耳が聞こえない生活について様々に想像できるように話し合う。</p> <p>(10分)</p>
<p>T 1</p> <p> 次の時間、さんという耳が聞こえないおじさんが遊びに来るよ。楽しみだね。でも、みんなどうしたらいい？</p> <p> さんってどんな人なんだろう。話が通じないぞ。あいさつはどうするんだろう。いろいろ聞いてみたいなあ。困ることがないか質問してみたいなあ。ぼくはとってもたのしみだな。ジェスチャーが通じるかやってみたいなあ。</p> <p>  T 1 T 2</p> <p>【 】 聴覚障害者との交流に楽しく取り組んでいる。</p> <p>(10分)</p>	<p>自由な話し合いの雰囲気を大事にしながら子どもの学習意欲の高まりをみたい。子どもの素直な思いを大事にふくらませたい。子どもたちから出なければ、教師の模範演技を提示して、自分たちなりに考えられるように配慮する。</p> <p>(10分)</p>
<p>T 1</p> <p> あいさつやじこしょうかいを考えてみよう。でも、ふつうの方法では伝わらないぞ。どんなくふうをしたら伝わるかな？</p> <p> クイズみたいでおもしろいなあ。こんな方法もあるぞ。はずかしくてできないなあ。なかなかむずかしいなあ。こんなやりかたならできそうだな。どんなことを伝えたらいいかな。ちゃんほうまいな。</p> <p>  T 1 T 2</p> <p>【 】 コミュニケーションの手段を自分の得意な一つの方法で試したり活動したりすることができる。</p> <p>(20)</p>	<p>子どもを7人ずつ分担して見取る。</p> <p>(20)</p>
<p>  T 1 T 2</p> <p>(5分)</p>	<p>(5分)</p>

## 第2～3時 さんとなかよくなるう！

### 活動の概要

聴覚障害者のさんと交流する。自己紹介をしたり興味・関心のあることについて質問したりした後、ジェスチャーゲームなどの簡単なゲームをしながら楽しく交流し、聴覚障害や聴覚障害者との交流について興味・関心を高める。

学習活動	評価の方法・目的【観点】(時間)
 <p>さんとお互いにじこしょうかいしよう。</p>  <p>さんの手話わかるかな？ 手話通訳者の人はすごいな。 手話ってというのはこんな風にするんだ。 さんは調理師さんなんだ。 わたしたちのじこしょうかいは、うまく伝わるかな。 ドキドキするな。 はずかしいけどがんばってじこしょうかいするぞ。 さんにしつもんしてみたいな。</p>  <p>ジェスチャーはつたわりにくいな。 文字ならうまく自分の名前をつたえられるぞ。 くちまねもむずかしいな。 気持ちを込めるといいのかもしれないな。 手話をおぼえたいな。</p>   <p>T 1 T 2 (45分)</p> <p>【 】 聴覚障害者との交流に楽しく取り組んでいる。</p> <p>【 】 生活経験を思いうかべながら、自分なりに活動しようとしている。</p>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>子どもの伝わりにくい自己紹介は手話通訳者を通じて伝わるように配慮する。また、さんに質問したいことを手話通訳者を通じて行えるようにする。自己紹介がむずかしい子どもには援助できるようにする。T 1 T 2は、積極的に関われるように言葉かけなどの支援をする。T 3は、ビデオカメラで自己紹介やゲームなど交流の様子を記録する。</p> </div>
 <p>さんとたのしくゲームをしてなかよくなるう。</p>  <p>きこもえ手話しズおイジるじゃ んがつら段せろもズエぞ な考とれでないむさはス ぞ。ゲえおる伝くぞ。ずんるむ ムれしだたもし手なかー ならいいこるけあてクど でかゲームもるおクど なム伝なもイ</p>   <p>T 1 T 2 (30分)</p> <p>【 】 生活経験を思いうかべながら、自分なりに活動しようとしている。</p>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>T 1 T 2が、ゲームの進行をする。</p> </div>
 <p>さんと仲良くなれて楽しかった。 手話が少しわかってうれしい。 自己紹介でちゃんと伝わってよかった。 手話ができないとふべんだ。 耳が聞こえない世界のことについてもっといろいろ調べてみたい。</p>  <p>T 1 T 2 (15分)</p>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>手話通訳者に同時通訳をしてもらいながら、お互いに感想を伝え合う。事前に子どもたちの活動についての評価なども感想に入れていただけるように外部講師と打ち合わせしておく。</p> </div>

第4時～7時

第4～5時 「 さんことをもっと知ろう」 平成 年 月 日( 曜日)第 校時 パソコン室、4年生教室  
T1 ( ) T2 ( ) T3 ( )  
第6時 「自分にどんな力をつけたらいいだろう？」 月 日( 曜日)第 校時 パソコン室、4年生教室  
T1 ( ) T2 ( )  
第7時 「こんな自分になれるようにがんばるぞ！」 月 日( 曜日)第 校時 4年生教室  
T1 ( ) T2 ( )

#### 1 目標

聴覚障害者の さんと実際に交流体験したことから、聴覚障害者や聴覚障害について興味・関心をもち、もっと知りたいと思うことや疑問に思うことなどを調べることを通して、聴覚障害者と自由にコミュニケーションできるようになるためには自分にどんな力をつけたらいいのかということから、こんな自分になりたいという目標(学習課題)がたてられるようになる。

#### 2 評価の観点

### 自分の興味があることから、しっかりした学習課題をつくる力

#### 3 評価基準

: 切実な思いや願いから、こんな自分になりたいという目標がもてる。  
: 興味のあることからこんな自分になりたいという目標がもてる。

: しっかりした目標をつくるために、インターネットやいろいろな図書資料など、目的に応じた手段を選び活用することができる。  
: 目標をつくるために、インターネットやいろいろな図書資料などが活用できる。

: 聴覚障害者との関わりから自分自身を見つめ、自分を高めていけるような目標がたてられる。  
: 聴覚障害者との関わりから、自分なりの目標がたてられる。

#### 4 評価の視点

興味・関心を高めよりはっきりした課題意識を引き出すために、疑似体験活動を導入する。

子どもの内面をできる限り実態把握できるように、主にT2が観察法で目立った言動だけでなく小さなしぐさやつぶやきにも注意する。

自分自身の良さに気づかせたり、自信をもたせるために、主にT1が言葉かけや会話法、外部からの評価を工夫する。

授業後、主に次時の学習活動に生かせるようにするため、ワークシートなどの子どもの自己評価と教師の観察評価などを合わせて、 基準で実態把握し、特記事項を個人カード1に記入する。

今後の学習活動に生かしたり、通知票や要録の資料にするために、最後に個人カード2に評価の観点にそって 基準で総括的評価を行い、特記事項を記入する。













子どもの学習意欲がさらに高まるように、ポートフォリオを家庭に持ち帰って保護者に見てもらい、感想がもらえるようにする。

#### 5 準備 ワークシート、デジタルカメラ、クリアファイル(ポートフォリオ用)、インターネット検索性自作手話リンク集(フロッピーディスク)、関連児童用図書資料、関連ビデオ資料

## 第4～5時 さんのことをもっとよく知ろう

### 活動の概要

さんと交流したことから、聴覚障害や聴覚障害者の生活についてもっとよく知るために、音のでないテレビを見たり声を出さないで会話をしたりするなどいろいろな疑似体験活動などを通して調べ、聴覚障害や聴覚障害者との交流について課題意識がもてるようになる。

学習活動	評価の方法・目的【観点】(時間)
<p>T 1</p>  <p>ぎじ体験をして、もう一度はしづめさんと楽しく交流するために、「こんな自分になりたいな」という目標をたてよう。</p>  <p>音が聞こえないテレビを見たらおもしろいかな。友だち同士で声を出さないで会話してみたらどうだろう？ ドッジボールとかサッカーとかできるのかな。遠くから後ろを向いている人に合図を送るにはどうしたらいいだろう？ 目覚まし時計ってどんなのだろう？ 聴覚障害者の生活用品をためてみたいな。友だちと筆談がやってみたいな。</p> 	<p>T 1 T 2 T 3</p>   <p>一人一人の実態把握から、それぞれの興味・関心を見取り、こんな自分になりたいという目標がもてるようにワークシートや言葉かけを工夫する。あらかじめ子どもたちの実態把握から疑似体験のメニューをきめておき、疑似体験の場作りやワークシートを準備しておく。疑似体験している子どもたちの様子をビデオカメラで記録し、評価に生かせるようにする。</p> <p>～準備可能な疑似体験メニュー～</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 無音のテレビ視聴コーナー (字幕なし 字幕あり)</li> <li>2 声を出してはいけない談話室コーナー (筆談用の紙と鉛筆を備え付ける。)</li> <li>3 生活体験コーナー (お店での買い物など)</li> <li>4 その他</li> </ol>
  <p>音が出ないテレビマンガなんておもしろくないな。でも字幕があると、少しはおもしろいよ。ジェスチャーでは、ぜんぜん会話にならないや。くちまねもむずかしいな。筆談はおそいけどちゃんと伝わるな。気持ちを込めるといいのかもしれないな。野球でしんぱんの声が聞こえないとこまるな。なるほどはしづめさんはこんな目覚まし時計があるから、ねぼうしないんだ。</p>	<p>T 1 T 2</p>   <p>積極的に疑似体験活動できるように言葉かけや会話などの支援をする。安全確保の面からも疑似体験メニューの補助についてもらう。自分なりの目標がもてるように、お互いに感想を発表しあい、本時の活動をふりかえることができるようにする。</p> <p>【 】 興味のあることからこんな自分になりたいという目標がもてる。</p> <p>【 】 聴覚障害者との関わりから、自分なりの目標がたてられる。</p> <p>( 8 5 分 )</p>
	<p>T 1 T 2</p>   <p>( 5 分 )</p>

## 第6時 自分にどんな力をつけたらいいだろう？

### 活動の概要














聴覚障害者と楽しくコミュニケーションしながら交流するために、自分にどんな力をつけたらいいかということから課題意識を高め、こんな自分になりたいという目標がもてるように、興味・関心のあることについてさらに自分なりにいろいろな方法で調べる。

学習活動	評価の方法・目的【観点】(時間)
<div data-bbox="103 403 199 515"></div> <p data-bbox="391 414 446 448">T 1</p> <div data-bbox="223 459 1244 582"> <p>聴覚障害者と楽しく交流できるようになるために、自分に興味のあることをもう少し調べて、自分なりにたてたこんな自分になりたいという目ひょうがいいかどうかたしかめよう。</p> </div> <div data-bbox="103 616 199 728"></div> <div data-bbox="606 593 710 694"></div> <div data-bbox="223 694 662 884"> <p>手話に興味があるのでインターネットで調べてみたい。ビデオの方がわかりやすそう。私は本がいい。買い物体験をまたやりたいな。他になにかいい方法はないかな。</p> </div> <div data-bbox="766 593 1212 851"> <p>ワークシートで自分なりの目標と調べる目的と方法をはっきりできるようにしてから、それぞれの興味・関心に応じた調べ活動に入れるようにする。ワークシートに調べる目的と方法をはっきりと書いているか、個別に机間指導する。</p> </div> <div data-bbox="1292 660 1372 739"></div>	<p data-bbox="1396 705 1516 750">T 1 T 2</p> <p data-bbox="1396 828 1516 873">(10分)</p>
<div data-bbox="103 929 399 1086"></div> <div data-bbox="103 1164 885 1512"> <p>手話はおもしろいし、自分にもできそう。それに、インターネットで調べられるなんて、楽しいぞ。目標を少し変えよう。ビデオの方がやっぱりわかりやすいぞ。ぼくはビデオで手話をおぼえたい。手話が上手になるという目標でいこう。私は本で調べたけど、インターネットの方が楽しそう。インターネットで指文字が上手になるようにしよう。買い物体験をしてみて、もっといろいろな聴覚障害者の生活について知りたいな。インターネットで調べたらできそう。はしづめさんや剣持さんにちよくせつ質問して調べるのもいいな。</p> </div> <div data-bbox="901 1030 1356 1523"> <p>ワークシートに調べて分かったことを簡単にまとめ、自分なりにたてた目標がよいかどうか確かめ、次時に向けての自分なりの課題意識がもてるようにする。しっかりした目標かどうかの判断基準として、自分にとってやさしすぎないか、むずかしすぎないかということを手助けする。ワークシートに調べて分かったことを簡単にまとめ、自分なりにたてた目標がよいかどうか確かめ、次時に向けての自分なりの課題意識がもてるようにする。</p> </div> <div data-bbox="821 1556 901 1646"></div> <div data-bbox="917 1556 1013 1646"></div> <p data-bbox="1021 1534 1508 1646">【 】 目標をつくるために、インターネットやいろいろな図書資料などが活用できる。</p>	<p data-bbox="877 1657 1005 1691">T 1 T 2</p> <p data-bbox="1396 1646 1516 1691">(25分)</p>
<div data-bbox="151 1747 255 1859"></div> <div data-bbox="279 1780 917 2016"> <p>次の時間は、目標がもう少ししっかりしたものになるようになるようにしよう。自分なりにしっかりした目標がたてられたので、それに向けてインターネットでもうちょっと調べたいな。目標がたてられないぞ。次の時間にはがんばってたてられるようにしなければ。</p> </div> <div data-bbox="95 1915 183 2004"></div> <div data-bbox="1292 1915 1380 2004"></div>	<p data-bbox="1396 1948 1516 1993">T 1 T 2</p> <p data-bbox="1396 2004 1516 2049">(10分)</p>

## 第7時 こんな自分になりたいという目標をきめよう。

### 活動の概要

交流会後の作文やお礼の手紙などに書いた思いや願いをもとに、さらにインターネットやビデオなどで興味のあることを調べたことから、12月に聴覚障害者をもう一度自分たちで招待してもっと楽しく交流できるようになるためには、自分にどんな力をつけたいかということを考えて、「こんな自分になりたい」という目標をしっかりと決めよう。

予想される学習活動	評価の方法・目的【観点】(時間)
 <p>さんや さんと楽しい交流会を12月に開くために、自分にどんな力をつけたいかということを考えて、「こんな自分になりたい」という目標をしっかりと決めよう。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>前時に調べた方法以外の方法でも調べてみたい児童が多いので、本時の前半、もう一度興味のあることをいろいろな方法で調べる時間にする。後半部に「こうなりたい自分」という目標をしっかりとたてられるようにする。しかし、「手話が上手になりたい」という目標が多いと考えられるので、追究活動を進めていく中でもっと広い視点から自分自身を見つめ直し、目標を見直していけるように指導を工夫していきたい。</p> </div>   <p>インターネットで手話をおぼえるのは難しい。ビデオの方がわかりやすくいいな。今日はビデオを確かめてみよう。ビデオの方がやっぱりわかりやすいぞ。ぼくはビデオで手話をおぼえたい。その他にもビデオで調べられることってあるかな？ インターネットには手話以外の障害者の生活のことなどいろいろあったぞ。障害者の生活や気持ちを調べてみたいな。</p>	  <p>T 1 T 2</p> <p>【 】 目標をつくるために、インターネットや図書資料などが活用できる。</p>
  <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>インターネットで調べる児童はパソコン室へ移動する。(T1が担当) ビデオで調べる児童は、1台のビデオデッキに大人数が予想されるので、ビデオのパッケージをコピーした目次を準備し、どんな内容があるかを調べさせて、児童の興味に応じて効率的に調べられるようにする。(T2が担当する。)予想外にビデオで調べる児童が多そうなので、追究活動では1台のビデオデッキだけでは対処できないので、ビデオデッキを増やすなどしていく必要がある。</p> </div>	<p>(25分)</p>
 <p>こうなりたいカードに自分できめた目標を書こう。</p>   <p>「はずかしがらないでやりたい」という目標ではちょっとはっきりしないから、変えよう。 手話をもっと覚えて楽しく交流したい自分になりたいから、どんな自分にしようかな・・・</p>	 <p>T 1 T 2</p> <p>(20分)</p> <p>【 】 聴覚障害者との関わりから、自分なりの目標がたてられる。</p>
  <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ポートフォリオを家庭に持ち帰り今までの活動を知らせ、保護者からの感想をもらう。</p> </div>	 <p>T 1 T 2</p>